

科目コーディネータ	仲 哲治 教授			問合せ先	医学部教務課 大学院担当			
科目コーディネータ所属	内科学講座 リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野			連絡先	内線5512、5511/ idaigakuin@j.iwate-med.ac.jp			
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	前期8回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	仲 哲治 (リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野 教授) 松本 主之 (消化器内科分野 教授) 世良田 聡 (分子病態解析部門 准教授) 鈴木 悠地 (リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野 特任講師)			林 祐子 (小児科学講座 非常勤講師) 渡部 大輔 (皮膚科学講座 講師) 吉野 直人 (感染症学・免疫学分野 特任准教授) 小宅 達郎 (血液腫瘍内科分野 准教授)				
教育成果 (アウトカム)	教育成果 自己免疫疾患の発症機序および免疫病態を理解し、各疾患の臨床病態および治療法について知識を得る。						該当するディプロマポリシー 1,2,3,4,5,6,7,8	
達成目標	達成目標				対象講義			
	(1) 自己免疫疾患の発症機序及び免疫病態を説明できる。				(1), (2), (3)			
	(2) 感染による免疫異常および病気との関連を説明できる。				(5), (6), (7)			
	(3) 膠原病の各臓器における病理学的特徴を説明できる。				(4)			
資格取得等	(4) 移植治療における免疫病態を説明できる。				(8)			
	成績評価方法							
<p>【2021年度以降の入学者】 受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。</p> <p>【2020年度までの入学者】 出席、レポートなどにより総合的に評価する。</p>								
特記事項								
<p>各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用し、講義動画をe-learningシステムで配信する。</p> <p>【2021年度以降の入学者】 受講後2週間以内に「受講票」をWeb Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合やオンデマンド形式の講義、秋入学生については、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までにWeb Classにアップロードすること。</p> <p>【2020年度までの入学者】 講義の出欠は履修手帳で管理する。講義を欠席した場合は、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までに「受講票」をWeb Classにアップロードすること。</p>								
教科書・参考書								

●講義日程

月日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
7月配信		(1) 自己免疫疾患1 (発症機序と臨床病態) 自己免疫疾患の発症機序および臨床病態について説明できる。	仲 哲治 教授 (リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	e-learning (動画配信)
7月配信		(2) 自己免疫疾患2 (抗体医薬品の作用機序) 最新の治療方法について説明できる。	世良田 聡 准教授 (分子病態解析部門)	e-learning (動画配信)
7月27日 (土)	1	(3) 自己免疫疾患3 (消化管における自己免疫疾患) 消化管における自己免疫疾患について説明できる。	松本 主之 教授 (消化器内科分野)	Zoom
7月27日 (土)	2	(4) 自己免疫疾患4 (肝・胆・膵領域における自己免疫疾患) 肝・胆・膵疾患における自己免疫疾患について説明できる。	鈴木 悠地 特任講師 (リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	Zoom
8月配信		(5) 小児の免疫疾患 小児の免疫疾患について説明できる。	林 祐子 非常勤講師 (小児科学講座)	e-learning (動画配信)
8月配信		(6) 自然免疫機構と疾病 (尋常性乾癬の免疫機構) 尋常性乾癬の免疫機構について説明できる。	渡部 大輔 講師 (皮膚科学講座)	e-learning (動画配信)
8月配信		(7) 感染免疫学・ワクチン療法 感染における免疫病態・粘膜ワクチンをはじめとしたワクチンの開発研究について説明できる。	吉野 直人 特任准教授 (感染症学・免疫学分野)	e-learning (動画配信)
8月配信		(8) 移植免疫学 (骨髄移植の免疫病態) 骨髄移植の免疫病態について説明できる。	小宅 達郎 准教授 (血液腫瘍内科分野)	e-learning (動画配信)